

## 鹿児島県工業技術センター創立10周年記念誌編集委員会

編集委員長 泊 誠  
副委員長 伊藤博雅  
編集委員 森田春美 田中耕治 仮屋一昭 瀬戸口眞治 藤田純一 矢崎 誠  
別府久美 松永一彦 図師朋弘

### 編 集 後 記

鹿児島県工業技術センターは昭和62年12月1日に創立され、本年10周年を迎えました。

昨年のこと、平成9年度は創立10周年目を迎えることが話題になっていました。秋頃、平成9年度に「技術立県会議」の開催が決まり、これを機に10周年記念事業が企画されました。

平成9年4月、技術立県シンポジウムの開催、創立10周年記念式典、記念誌の発刊を創立10周年記念事業として実施することになり、各部から集まったメンバーで創立10周年記念誌編集委員会を結成し、編集に当たることになりました。

5月15日の第1回目の編集委員会以後数回の会議で、編集日程と全体構成がまとまりました。

全体構成は、基本的には平成4年度に発刊した創立5周年記念誌に沿うことにし、できるだけビジュアル化することと、前回の記念誌とはひと味違った記念誌とすることを狙い、将来への展望という章を設け、所長と若い研究員2名に将来に対する展望・抱負を述べてもらうことにしました。

第1章の中の試験研究の変遷では、過去の研究経過についても、現在の6つの研究分野分類に従い、整理し直すことにしました。また、10周年記念事業については、本文から切り離し、口絵の後に掲載することにしました。

このようにして、口絵、本文の第1章沿革から第6章資料までの全体構成が出来上がりました。

編集作業は、資料整理、原稿執筆、先達への原稿執筆依頼等について、十数回の委員会を重ね調整を進める作業でした。編集作業中、過去の記録となる写真を集めるのに大変苦勞をしました。日常業務をこまめに記録保存しておくことの重要性を痛感した次第です。苦勞を重ねた編集作業も、工業技術センター創立11年目に入る12月にやっと終えることができました。

記念誌発刊の意義は、所長が「発刊に寄せて」で「これまでのセンターの推移および実績をまとめ、今後のあり方を考えるためにこの小史を刊行することにいたします。」と述べているように、過去を記録し、今後センターが進むべき方向を探るための一里塚となることであろうと思います。

編集に当たっては正確を期しましたが、多々不備もあろうと思います。編集委員の不慣れのためとご容赦下さい。

この小史が多少とも各位のお役に立てば、編集に携わった委員一同にとりまして望外の喜びです。

本記念誌は、先達各位のご協力と各編集委員が通常業務のかたわら原稿執筆、資料整理などの作業を進めた結果によるものであります。ここに記して謝意を表します。

平成9年12月 編集委員長 泊 誠

鹿児島県工業技術センター創立10周年記念誌

# 10年のあゆみ

創立10周年を記念して

平成9年12月 発行

編 集 創立10周年記念誌編集委員会

発行人 鹿児島県工業技術センター

廣 末 英 晴

〒899-5105 鹿児島県始良郡隼人町小田1445-1

電 話 (0995)43-5111

F A X (0995)64-2111

印刷所 (株)秀巧社印刷

〒890-0072 鹿児島市新栄町25-7

電 話 (099)257-3300

F A X (099)257-3322